

進会のほか、新たに町和牛共進会を開催するとともに、合併五十五周年記念事業の一環として「第五十四回岩手県畜産共進会ホルスタイン種の部」を誘致開催します。

また、五年に一度の全日本ホルスタイン共進会が北海道で開催されることから、当町からも多くの牛を出品できるよう支援します。「酪農・畜産の町くずまき」を内外に情報発信し、集客力あるイベントとしてもぜひとも成功させ、さらに農家が誇りをもって今後の酪農経営に取り組みきつかけにしたいと考えています。

**生産基盤の整備** 県営事業「中山間地域総合整備事業江刈地区」が六年計画で着手の予定です。

**林業振興** これまでのイベントに加え、町村合併五十五周年記念事業の一環として「第四回いわての森林（もり）の感謝祭」の開催を誘致し、「林業の町くずまき」をPRします。また、町森林組合が林野庁の「緑の雇用担い手対策事業」を活用して取り組んでいる林業就業希望者の研修制度と組み合わせる形で、新たに



「林業担い手育成支援事業」を創設し、雇用や定住支援対策につなげます。

**商工業の振興** 県と共同して国道281号の改良整備と、中心市街地の再整備に向けた基本計画の策定に取り組みます。

また、新たな雇用の場の創出を図るため、盛岡広域八市町村で設置した「在京盛岡広域産業人会」等と連携し、引き続き企業誘致に取り組みます。

**観光振興** 「農業体験交流施設」などを活用した新たな体験交流プログラムの開発を支援するとともに、くずまき高

原牧場や森のこだま館などの既存施設を生かした魅力ある体験滞在型観光の振興を図ります。

**定住対策** 平成二十年度に創設した土地提供者を登録する制度に、引き続き農家等のご協力をいただくとともに、土地取得者や若者定住者に対して奨励金等による支援を実施するほか、雇用対策とも連携して定住しやすい環境づくりを充実させます。

### 第5 人と文化を育む まちづくり

**教育環境整備** 葛巻小学校屋内運動場改築工事を行います。この施設は、学校開放型の総合文化施設や災害時における緊急避難施設など多目的に利用できるものです。また、平成二十三年度に予定する葛巻小学校屋内プール改築工事の実施設計を行います。

学校給食では姉妹町村の沖縄県北中城村との産物交換による学校給食沖縄デー、地元産物による学校給食葛巻デーにも取り組みます。

**高等学校教育の振興** 今後と

の継続が予定されています。**町道** 渋谷地線は継続工事とします。新規路線として、小屋瀬塚森線、江刈保育園線、佐ノ渡線、塚ノ沢線、長路二

号線の整備に着手します。**バス交通対策** 葛巻線、吉ヶ

沢線の二路線の広域生活路線は、引き続き関係町村と連携し、補助金を交付して路線の維持を図ります。

**地域情報化** 地域情報通信基盤施設整備の最終年度として、地上デジタル放送への完全移行及びブロードバンド・ゼロ地域の解消を図るための加入者側基盤の整備を進め、町内全域におけるテレビ難視聴を解消します。

### 第7 協働の まちづくり

**住民参画** 平成二十年度に創設した「協働のまちづくり事業」で、町外に在住の町出身者の方々と地域との絆を強めるための事業や、集会施設の機能向上を新たなメニューとして追加します。

## 教育行政方針

### 子どもたちの無限の可能性を大いに引き出す教育を

平成二十二年度の教育行政方針について申し上げます。教育委員会は、子どもたちの無限の可能性を大いに引き出し、町民の生活に潤いを覚えていただける教育の推進に努めます。

#### 〔第1 教育の充実〕

平成二十二年度から町立の保育所と児童館が教育委員会所管となり、これまで以上に幼保一元化による就学前教育の充実が求められることとなります。職員の研さんを重ね意識改革に努めます。

学校教育の目標は、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を総合的に育む人間形成そのものにあります。「確かな学力」をしつかりと身に付けさせ、児童生徒一人一人の学習状況や課題を的確に把握してきめ細やかな学習指導の充実に努めます。

「豊かな心」を育てるために、豊かな感性や情操を育み、思いやりの心を育て、命を大切にすることを教育で推進します。

「健やかな体」を育むため、運動に親しむ機会や体育行事の充実、健康診断の実施など保健指導に努めるとともに、家庭における生活習慣の改善にも力を



今年度は学校給食沖縄デーや葛巻デーが開始。写真は給食を楽しむ小屋瀬小児童

れます。食育につきましましては、特に「早寝・早起き・朝ごはん」の励行を図ります。

#### 〔第2 生涯学習の充実〕

「町民まなびい学園」の開設や「生涯学習フェスティバル」の開催を通じて学習の機会と情報の提供に努めます。また、「子どもの未来を考

える町民の集い」を開催し、子どもたちを取り巻く教育の諸問題を一緒に考え、青少年の健全育成を図ります。成人式典や40歳のつどい、60歳のつどいの開催、高齢者大学の開設なども本町ならではの取り組みとしてさらに発展させます。

今年「国民読書年」ですので、子どもから大人まで読書活動の輪の広がりを進めます。

#### 〔第3 生涯スポーツ・レクリエーションの推進〕

年齢・性別を問わずスポーツに関心をもち、親しむ環境づくりを推進します。競技力向上のため、スポーツ少年団本部、体育指導委員などとの連携強化、指導者育成にも

力を入れ、引き続き総合型スポーツクラブの組織化にも努めます。平成二十八年に本県で開催が予定されている第71回国民体育大会では、本町を含めた久慈市に隣接する八市町村が成年軟式野球の開催地に決定しましたので、受け入れ態勢整備等を進めなければなりません。

#### 〔第4 文化の創造と継承〕

全ての町民から日常生活の中に文化活動を取り入れていただけるように、文化団体などと連携して芸術文化活動に触れ親しむ機会の充実に努めます。特に、「俳句で文化の薫るまちづくり事業」を継続し全国的イベントに拡大すると同時に、町民の俳句人口増加を目指します。昨年は、葛巻高等学校郷土芸能部が全国高等学校総合文化祭（郷土芸能の部）に出場し葛巻神楽「権現舞」を披露しました。高校生らしい躍動感と郷土愛には多くの町民の皆さまも感動したと思います。これを契機に、郷土芸能活動の活発化を促します。



公民館のスペシャルオーダー講座をきっかけに活動を始めた「舞スマイルダンス教室」の第2回自主公演

も葛巻高等学校教育振興協議会に対して補助金を交付し、存続発展に展望を切り開いていきます。特に、平成二十二年度は、県が第二次県立高等学校整備計画を策定する予定であり、地域と連携した教育活動の重要性を力強く訴えます。

### 第6 交流を広げ、誇り を持つて情報発信 するまちづくり

**国県道整備** 国道281号では、大坊地区の拡幅工事、葛巻地区流雪溝の補修継続、小屋瀬地区落石防護工事の継続、また、国道340号では、道路維持修繕、急カーブ・歩道整備等